町民の声

今後の災害対策について

筒井　E・N

近年、松前町でも「総合災害防災マップ」を作成し各家庭に配布するなど防災知識の普及・啓発活動の効果もあり、町民一人ひとりの災害に対する意識は、以前にくらべかなり向上してきたと感じる。

災害の発生に備え、避難場所や避難経路を確認したり、飲料水や非常食、その他防災グッズを購入するなどの備えをしている人も、周りに増えつつある。そういった各家庭でできる備えが進む中で、防災に関するハード面の整備、対応は、まだまだ整備途中の段階であると感じる。

最近、強く不安を感じる出来事といえば、全国各地で発生している集中豪雨による水害である。今年に入ってから極端に増えた気がするこの局所的な集中豪雨では、大規模な土砂崩れや河川の氾濫、また、地下や土地の低い地域での住宅浸水が頻繁に発生した。いずれも「過去に経験したことの無い降雨量」と繰り返し報道されているが、これをこの先も「たまたま」で済ませてよいものだろうか。今の異常気象が、今後は平常化しつつあるように感じる。

重信川・国近川・長尾谷川など河川も多くあり、また、一部土地の低い地域をもった松前町でも、このような状態が平常化することを想定した上での防災対策も早期に検討・推進していただければと思う。

松前に足りないもの

徳丸　谷口圭祐

春は曙じゃないけれど、日本には北から南まで、四季という美しい自然がある。春は桜花、夏は白砂青松、秋は錦織、冬は銀世界などと数えきれないほどの自然美がある。

全国津々浦々にある名所は、桜と言えば吉野の千本桜、ぶな林と言えば白神、雪景色なら蔵王などと言われる。人の手が加わっているところもあるが、その土地の風土、季節をうまく取り入れて、自然と一体化しているのが名所である。誰もが見たい名所なのである。

さて、松前町はどうであろうか。松前は○○が有名だ。松前へ行けば○○が見られる。

こうした町にしたい。こうした声が聞ける町にしたい。確かに松前町で、天災、人災に私はまだ出会っていない。住み良い所ではあるが、もう一歩、上の事を望むのは贅沢だろうか。

例えば、重信川の土手や河川敷を利用して、桜の二千本並木を見てみたい。

河川法などがあり、一飛びにはいかないだろうが、なんとか国や県に働きかける価値はあると思う。空き地利用もある。

今、松前町に足りないものを、色々と町民全員で探し求めていきたい。

お知らせ

「役場北駐車場について」の貴重なご意見を投稿して下さった方がおられましたが、匿名のため掲載できませんでした。

今後は、ぜひ記名による投稿をお願いします。

広報委員会より